



# 『赤い鳥』創刊100年記念

今年、新美南吉の「ごん狐」や数多くの童謡が掲載された児童雑誌『赤い鳥』が創刊されて100年です。これを記念し、大正から昭和初期に花開いた童謡をテーマにコンサートを行います。

# 童謡コンサート

## 出演

- ◆ 高居洋子（ソプラノ・東京二期会所属）
- ◆ 倉石 真（テノール・日本音楽アカデミー会員）
- ◆ 伊坪淑子（ピアノ・二期会イタリアオペラ研究所所属）
- ◆ 半田少年少女合唱団



伊坪淑子



倉石 真



高居洋子

2018年

**8/4 [土]** 14時～15時30分  
(開場13時30分)

## 半田市福祉文化会館(雁宿ホール) 講堂

■対象：小学生以上 ※未就学児については、事前に新美南吉記念館へお問い合わせください。

■定員：200名 ■入場料：大人1,000円 小・中学生：800円

■チケット販売：6月2日(土)から  
新美南吉記念館、半田市福祉文化会館(雁宿ホール)、  
半田市立博物館、亀崎図書館で販売。

※事前に完売した場合、当日券はありません。

※電話予約のうえ代金を定額小為替で送付いただければチケットの取り置きをいたします(当日会場で引き渡し)

■予約・お問い合わせ：新美南吉記念館 ☎0569-26-4888

## 演奏予定曲目

「あわて床屋」 詞:北原白秋 / 曲:山田耕筰  
 「からたちの花」 詞:北原白秋 / 曲:山田耕筰  
 「この道」 詞:北原白秋 / 曲:山田耕筰  
 「ちんちん千鳥」 詞:北原白秋 / 曲:近衛秀麿

「かなりや」 詞:西條八十 / 曲:成田為三  
 「黄金虫」 詞:野口雨情 / 曲:中山晋平  
 「叱られて」 詞:清水かつら / 曲:弘田龍太郎  
 「合唱」「島」 詞:新美南吉 / 曲:真島圭

ほか ※真島圭作曲「島」は、このコンサートが初演発表となります。

## プロフィール



### ソプラノ 高居 洋子

Yoko Takai

東京音楽大学声楽専攻オペラ科卒業及び同大学研究科修了。没後200年記念国際モーツァルトコンクール派遣審査会入選。中部読売新人演奏会・現音秋の音楽展・渋谷ミッドサマー・グシアター・二期会サロンコンサートなどに出演。オペラでは『ラ・ボエーム』ミミ、『泥棒とオールドミス』レティージャ、『ヘンゼルとグレーテル』グレーテル、『ナイチンゲール』ナイチンゲール(2016本邦初演)、『ホフマン物語』アントニアなど。同郷である新美南吉の詩や童謡を、音楽で広めるための演奏

活動にも取り組んでいる。2015年夏より度々渡伊。現在はアルベルト・クビード・黒田安紀子の両氏の元で研鑽を積んでいる。アメリカの歌研究会、日本声楽アカデミー会員、二期会会員。



### ピアノ 伊坪 淑子

Yoshiko Tsukuba

フェリス学院大学音楽学部ディプロマコース修了、桐朋学園大学ディプロマコース修了。1997年よりパリでジェルメヌ・ムニエ女史に師事。パリ市やその近郊で数多くの演奏会に出演。ナポレオンが眠るアンヴァリッド前の広場で一万人の聴衆の前で演奏。その模様は各局のテレビで放映される。ソロや室内楽だけでなく、N響などのオーケストラに鍵盤奏者として参加。ベルリンフィルの首席クラリネット奏者ヴェンツェル・フックス氏と共演。ピアノを故塚原瑛子、藤井一興、ムニエ

各氏に、室内楽を菊池真美、野平一郎、ドイツリートを星野明子各氏に師事。コレベティをダンテ・マツォーラ氏に師事。二期会イタリアオペラ研究会ピアニスト。日本声楽家協会ピアニスト。聖徳大学兼任講師。



### テノール 倉石 真

Makoto Kuraiishi

小諸市出身。東京藝術大学声楽科卒業、同大学院修了。日生劇場「ジャンニ・スキッキ」、藤沢市民オペラ「カヴァレリア・ルスティカーナ」「メリー・ウィドウ」、新国立劇場「カルメン」「ラ・ボエーム」「黒船」「軍人たち」、横浜シティオペラ「愛の妙薬」「魔笛」、ジェノヴァ・カルロ・フェリーチェ歌劇場「トゥーランドット」、東京・春・音楽祭「ファルスタッフ」、トリエステ・G.ヴェルディ歌劇場「蝶々夫人」、ボローニャ歌劇場日伊共同制作オペラ「蝶々夫人」(二条城)「トゥーランドット」(平城京跡)他に出演。

佐藤しのぶ主演新演出「夕鶴」(市川右近演出、千住博美術、森英恵衣裳)の与ひょう役として全国18公演等に出演。演技、歌唱ともに高く評価された。聖徳大学兼任講師、東京音楽大学講師、日本声楽アカデミー会員。

## 半田少年少女合唱団



1969年、合唱活動を通して、地域での豊かな人間形成の場として創立された児童合唱団。現在、半田市及び近隣市町から通う57名が在籍。小学生から大学生まで幅広い年齢の子ども達と一緒に活動している。

## 新美南吉記念館イベント紹介



### 『赤い鳥』創刊100年記念特別展 「赤い鳥」がくれたもの ～新美南吉・夢と出会い～

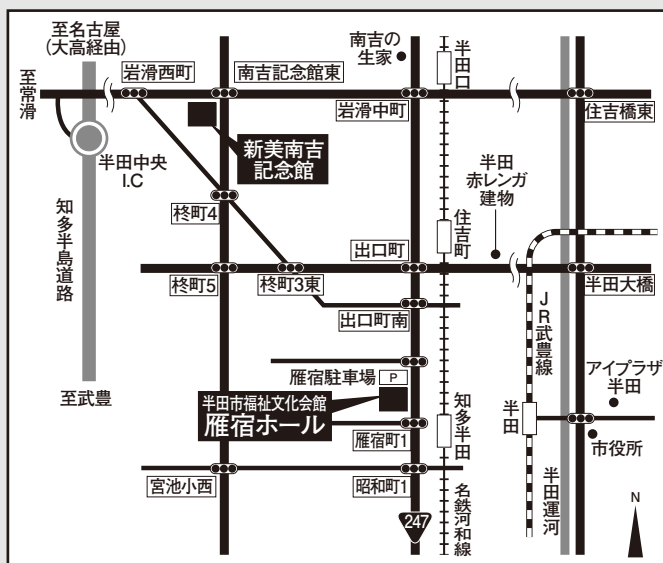
児童雑誌『赤い鳥』と新美南吉について、鈴木三重吉、北原白秋など同誌を支えた人々や時代との関わりからご紹介します。

- 期間 7月14日(土)～10月28日(日)
- 会場 新美南吉記念館 (半田市岩滑西町1-10-1)
- 開館時間 9:30～17:30
- 休館日 月曜日・第2火曜日 (祝日の場合は開館して翌日休館)
- 観覧料 常設展の観覧料210円(中学生以下無料)で特別展も観覧できます。

『赤い鳥』に投稿していた頃の  
新美南吉(18歳)

## 新美南吉生誕祭 7月28日(土)～30日(月)

※期間中観覧無料 ※7月30日(月)は「南吉さんの日」(誕生日)のため臨時開館。  
盆踊りやお囃子の演奏、紙芝居、朗読など楽しいイベントもりだくさん。7月30日には「南吉さんの日」記念式典を開催。皆で105回目の誕生日を祝いましょう。



■ アクセス  
 半田市福祉文化会館(雁宿ホール)  
 半田市雁宿町1-22-1 ☎0569-23-7331  
 名鉄知多半田駅から徒歩3分 知多半島道路半田中央ICから車で10分  
 (駐車場 雁宿ホール117台・雁宿駐車場261台※有料)